

男女共同参画情報コーナー



～一人一人が幸せを実感できるまちへ～

【編集】=「とらいあんぐる」編集員
【問合せ先】=本庁 ひとみらい政策課
ひとみらい政策グループ
☎(23)5111(内線 4741)

＊男女共同参画講座実施報告＊

本市では、男女共同参画を地域や学校で推進していくため、あらゆる場で講座などを実施しています。今年度実施した講座などの事業の一部を紹介します。

男女共同参画基礎講座

まちづくり塾in上甕島

多くの方が、男女共同参画社会の実現に向けたまちづくりに参画できることを目標として、毎年、対象地域を決めて開催しています。本年度は、里・上甕地域で9月～11月の間に3日間開催し、延べ75人の方に参加していただきました。



男女共同参画の基本的な考え方、男女共同参画の視点からのコミュニケーションづくりの講話を、オフィスビューア代表のたもつゆかり氏に、多様性を大切にするためのワークショップをワークシヨップデザイナーの高崎恵氏に実施いただき、参加者からは「地域づくりで大切なことを学ぶことができた」「みんなが自分の思いを外に出せるようになる」と良いといった感想がありました。

中学生向け男女共同参画講座

「自分をもっと好きになるために!!」

本年度より市内の中学生を対象に、「自分をもっと好きになるために!!」と題して、男女共同参画講座を実施しています。本年度は8校の申し込みがあり、講師を高崎恵さんが務めています。



「男女共同参画」という言葉は難しいですが、男の子だから、女の子だからと決めつけるのではなく、自分が好きなこと・したいこと、友だちが好きなこと・したいことをお互いに認め合っていくようにしましょう。そのためには、どうしたらいいかをワークショップ形式で分かりやすく伝えていただいています。子どもたちからは、「間違っこと」「人と違っこと」を恐れていたが、自分たちが一人一人が違うからこそ、学校や社会が成り立っていることを改めて考えることができた」など、素晴らしい感想がたくさんありました。

市民団体によるパープルリボン周知活動

11月12日(月)～25日(日)の「女性に対する暴力をなくす運動」の期間に合わせ、市民団体によるパープルリボンの周知活動が行われました。

国際ソロプチミスト鹿児島市川内は、市内スーパーにおいて、女性に対する暴力撲滅を願うツリーを設置し、買い物中の方々にチラシとパープルリボンを配布して、ツリーに結び付けてもらう活動を行いました。

また、薩摩川内市女性チャレンジ委員会の任期満了のメンバーで構成されるダイバーシティ研究会は、民生委員・児童委員協議会定例会の中で、手作りのパープルリボンを配布しました。



＊男女共同参画実態調査アンケート結果報告＊

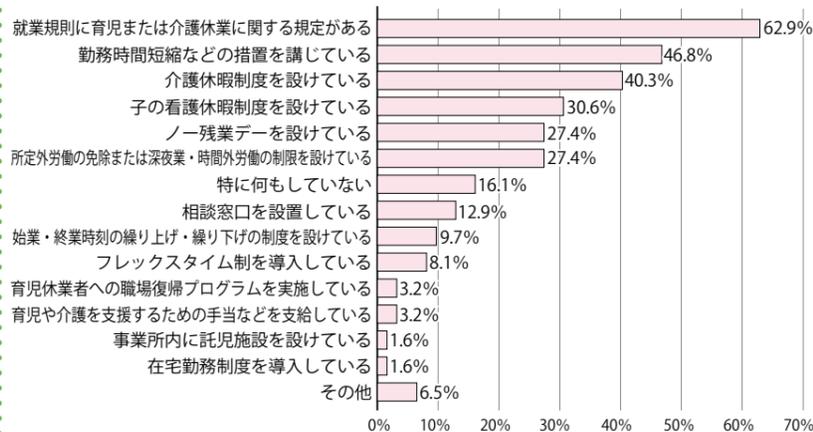
本市では、市内各事業所の男女共同参画の実態を知ることにより、就労分野における男女共同参画や仕事と生活の調和に向けた支援などの施策に役立てていくことを目的に、「男女共同参画に関する企業(従業員)アンケート」を実施しました。アンケート結果について、一部を報告します。

企業アンケートでは、半数以上の事業所が育児や介護に関する規定を設けているにもかかわらず、育児休業においては男性従業員の取得率がとても低い状況です。また、従業員アンケートでは、男女の役割分担の意識は、「男女共に働き、家事全般も男女共にする」ことができる人ができることをするという意識が高い状況にあります。

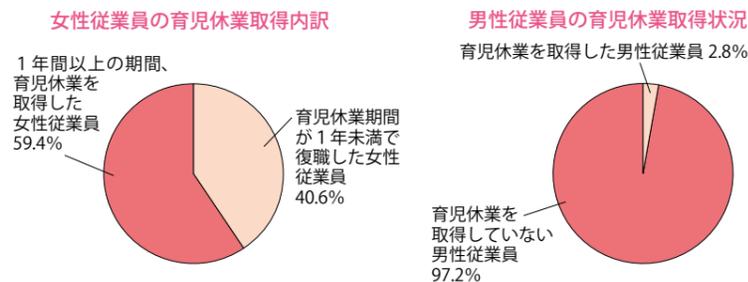
女性の働き方については、「家事や育児が忙しい時期には休・退職し、子どもが大きくなってから」と考える人の割合が約半数を占め、数値として高い状況にあります。

企業アンケートより抜粋

■貴事業所で、働きながら育児や介護を行う従業員のために、何か取り組んでいることはありますか。(複数回答可)

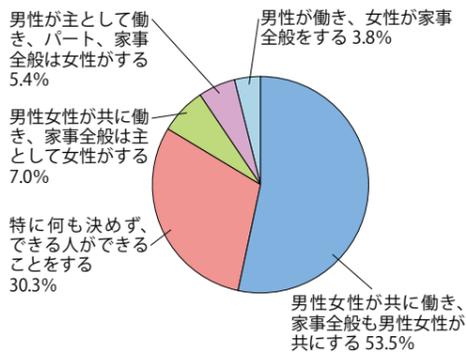


■貴事業所で、平成29年度中に育児休業を取得した従業員数を記入してください。

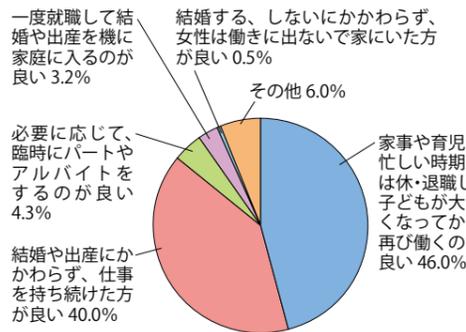


従業員アンケートより抜粋

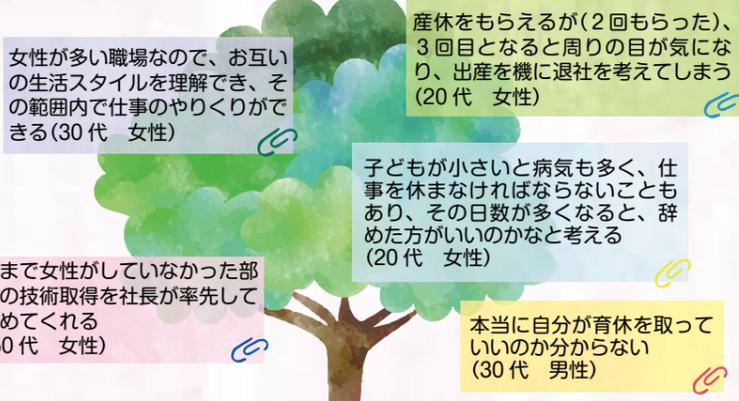
■あなたが理想とする男女の役割分担は、次のどれに最も近いですか。



■女性の働き方について、あなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。



アンケートの自由意見より抜粋



とらいあんぐる編集員のつぶやき

職場や友人との会話の中で、「分かっています」「知っています」と言われたり、言ったことはありませんか? つい、突き放すように言ってしまう言葉です。私の働く地域では、言葉を受け取る人が傷つきます。「そのように私も思います」など、お互いが心地よく感じられるような言葉や話し方を心掛けたいですね。